

KRP PRESS Vol.150

Kyoto Research Park ACTIVITY (2017.07) 特集:KRP地区のコラボレーション

特集 KRP地区のコラボレーション

I n n o v a t i o n P l a c e

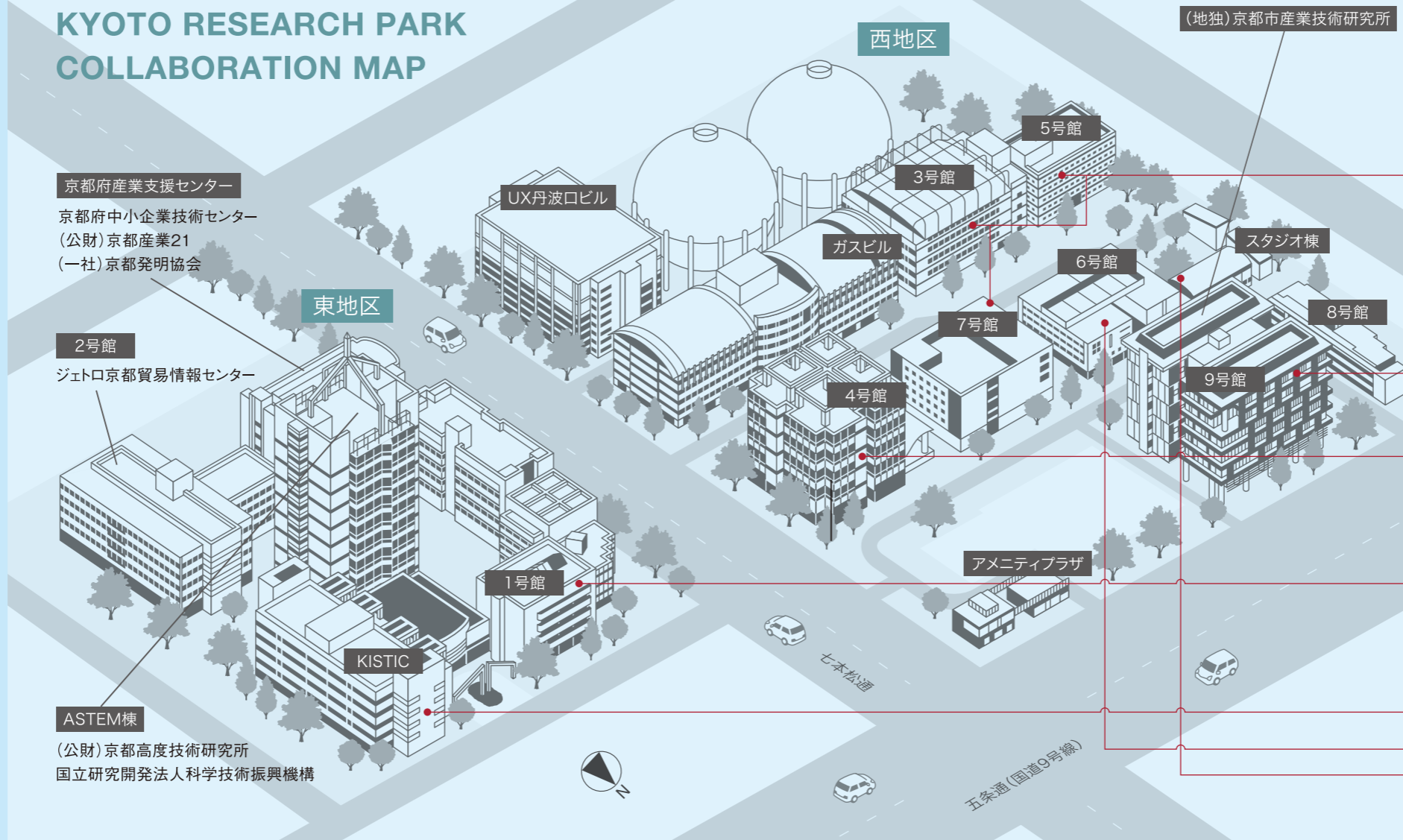


協働し触発され
新しい何かが始まる



特集 KRP地区の「コラボレーション」
Innovation Place
 イノベーションが生まれる「まち」へ
 触発され、何かが始まる企業の協働

**KYOTO RESEARCH PARK
 COLLABORATION MAP**



KRP地区のコラボ事例
 Example of collaboration

- CASE 01**
 製薬会社 × 大学
 ●京都大学デザインイノベーション拠点
 ●マルホ株式会社
- CASE 02**
 製薬会社 × 研究機関
 ●東和薬品株式会社
 ●株式会社KRI
- CASE 03**
 製造業 × 製造業
 ●ヴァーヴビジュアルソリューション株式会社
 ●中央技研株式会社
- CASE 04**
 製造業 × 製造業
 ●株式会社シオガイ精機
 ●株式会社ユー・エム・アイ(宇治VIF)
- CASE 05**
 研究機関 × デザイン
 ●株式会社FKAIR
 ●株式会社バウンス

強みを生かし、プラスへつなぐ
 集積する「まち」に生まれるコラボ

京都リサーチパークは1989年の開設以来、「産学公連携拠点・新産業創出拠点」としてイノベーションを生み出すことを目的に、創造的な環境やサービス、大学や研究機関・海外リサーチパークなどの連携を積極的に進めています。多様な業種・職種の400組織、4400人が集積する「まち」へと発展した現在、産学公の枠を超えて地区内の企業や機関が活発に交流、イノベーションが発生する重要な要素であるコラボレーションも多様に展開されています。それぞれの発展を目指して、強みを活用し、技術やセンスを掛け合わせて協働している、KRP地区ならではのコラボレーションをご紹介します。

入居企業・機関数

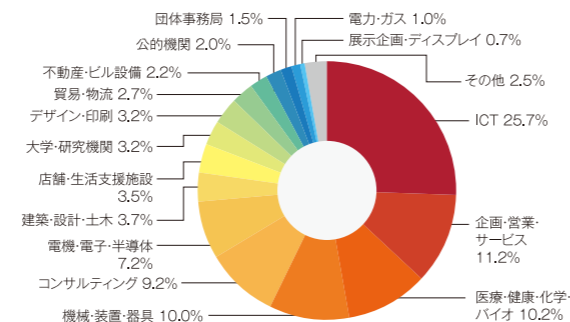
約**400**組織

就業人口

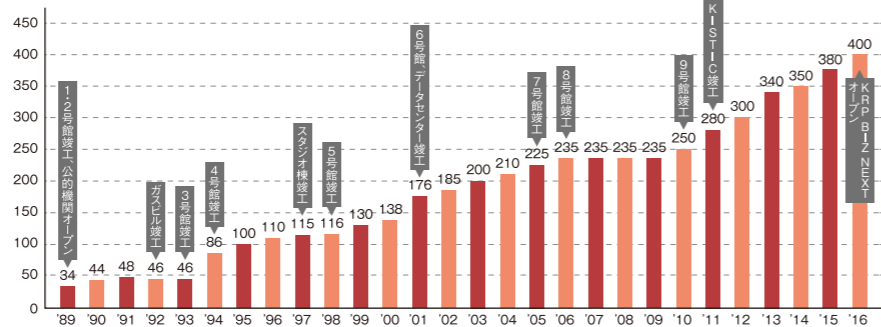
約**4,400**人

各企業・団体の業種分類は、主たる事業内容に基づいて行っております。2017年1月現在

組織数比率 [2016年12月時点]



入居企業・機関数推移



地域未来投資促進法などの活用を通じ地域のさらなる活性化を

アベノミクスの推進により、日本経済全体に著実に好循環をもたらしておりますが、その果実が全国津々浦々に届くよう更なる好循環の加速が期待されております。こうした中、地域の自律的な発展を促進していくためには、将来の成長が期待できる先端ものづくり、観光、農林水産、ヘルスケア等の分野において、地域の強みを活かしながら、次々と事業が生まれていく地域の成長発展の基盤を強化していくことが重要です。

このため、本年5月に成立した地域未来投資促進法に基づき、地域の特性を活かして高い

付加価値を創出し地域経済への波及効果が大きい「地域経済牽引事業」に対して、予算・税制・金融等を総動員して支援を行ってまいります。本法では、都道府県及び市町村が基本計画をつくり、事業者等がこの基本計画に沿って事業計画を策定して支援を受けますが、各地域で展開される地域経済牽引事業が成果をあげていくためには、産学官金の関係機関による効果的な支援が極めて重要です。

なかでもKRPのようなインキュベーション施設は、技術面・経営面等において事業者等に対する総合的なサポートを求められており、地域の支援機関の中核の一つです。地域の支援機関の結節点になることはもちろんのこと、地域をこえて広く連携し(本法では「連携支援

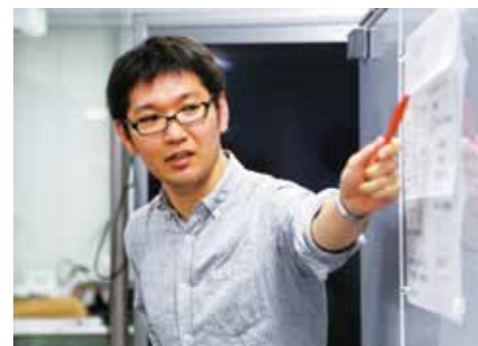
計画)を支援)、支援機関同士で強みをシェアして弱みを補っていくことにより、更なる支援の高度化を図っていくことを期待しております。KRPは、28年にわたる活動を通じて、400社にも及ぶ集積を生み出し、域内外のネットワークを構築しております。支援機関の代表選手として、地域未来投資促進法の活用をはじめ、地域活性化を引っ張っていただくことを期待しております。

経済産業省
 地域経済産業グループ
 地域経済産業政策課長
 島山 一成 氏





CASE 01 京都大学デザインスクールが創造性開発のノウハウを活かしてマルホ(株)の社員研修を実施



今年1月に行われた創造性開発の社員研修



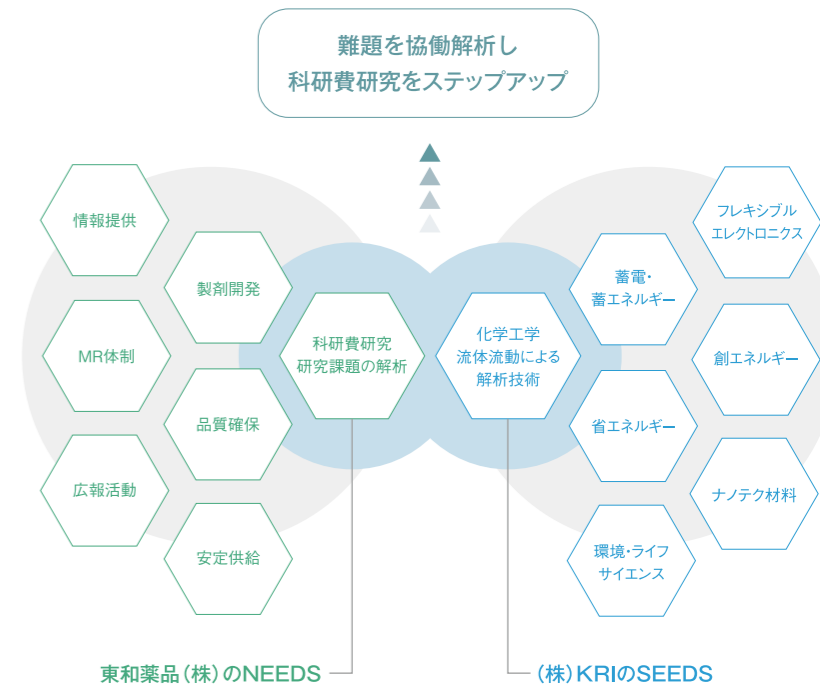
CASE 02 東和薬品(株)が取り組む特殊な試験法の解析を(株)KRIの化学工学的なアプローチでサポート



フロースルーセル法溶出試験装置で試験を重ねる西村氏



セル内で試験剤が崩壊・溶出する様子



「身に付く」社員研修を 京大デザイン学とのコラボで実践

マルホ(株)*では導入品に加え自社創業も取り入れた事業転換に伴い、未来の中核となる研究スタッフに対する創造性開発の必要性を痛感。京都大学デザインスクールと地区内企業とが交流するワンコインランチで出会った十河氏に、井上氏が人材育成の研修を依頼した。座学ではなく真に「身に付く」研修を、という井上氏の要望にこたえて、十河氏はデザイン学に基づくイノベーション人材育成プログラムをベースに、受講者の反応や強化ポイントに応じて内容を調整。ゲーム感覚のアイスブレイクを取り入れるなど、成果の高い研修を実践している。

*マルホ(株)は皮膚科学領域における卓越した貢献を目指す、医療用医薬品等の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。

COMMENT

社員のそしゃく度や興味に応じて微調整していけるのがありがたい

教育に強みがあり、イノベーション拠点としての機能もつ京都大学デザインスクールとなら、受け身で終わらない「行き届いた研修」が実践できるのではないかと、依頼しました。不十分な部分を微調整して強化していける研修プログラムに大いに期待しています。身の回りのあらゆる瞬間に創造性を発見できるような人材の育成を通じて、マルホ(株)の社は「真実の追求」にコミットしていきたいと思っています。

maruho
KRP 3・5・7号館

マルホ(株)
京都R&Dセンター
探索研究部 部長
井上 隆幸氏

COMMENT

企業内研修のノウハウを蓄積してデザイン学応用のすそ野を広げたい

企業の事情に合わせて研修内容を設計していくことは、京大デザインスクールとしてもデザインイノベーションコンソーシアムとしても初めての試みです。興味のある人だけがスキルを学ぶのではなく、すそ野を広げ、自ら協創活動を推進できる人を増やし、創造性ゆたかな組織文化を育てることが、両機関にとって目下の課題でもあるので、まさに時宜にかなった取り組みと言えます。

DESIGN SCHOOL
KRP 9号館

京都大学
デザイン学ユニット
特定准教授
十河 卓司氏

強力なパートナーシップで 科研費研究をステップアップ

厚労省の科研費研究「医薬品等の品質・安全性確保のための評価法の戦略的開発」の実務を担当する東和薬品(株)の西村氏は、自ら「ガラスビーズ直径が0.1ミリ単位で変わると溶出率が変化する」ことを証明するデータを所持。しかしなぜ溶出率が変わるのか考察を詰め切れないでいたため、地区内の情報交換会などで面識があった(株)KRIの阪井氏に解析を依頼した。阪井氏は実験の視察や論文情報の検証から、セル中心部の液流量を変動要因とする新たな仮説を立てて、実験データから変動システムを理論的に解明。西村氏は研究を一步前進させ、日本薬学会第32年会(2017、大宮ソニックシティ)での成果報告に至った。

COMMENT

全く違った発想で課題を解決 研究の推進サポートに感謝

研究開始から3年たって打開策を探っていたところに、(株)KRI様から発想の異なる視点からの解析サポートをいただき成果をまとめることができ、感謝しています。このフロースルーセル法溶出試験装置による試験法の研究を深めるとともに社内でもこの装置を高い精度で使用し、当社が独自に開発した口腔内崩壊錠(OD錠)をはじめ、低価格で付加価値の高いジェネリック医薬品の研究開発に活用していきたいです。

東和薬品
KISTIC

東和薬品(株)
事業開発部
バイオメディカルチーム
西村 奈緒恵氏

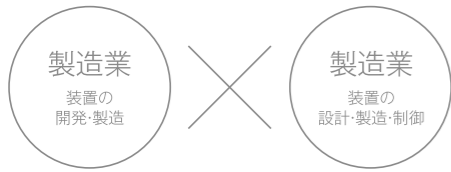
COMMENT

メートル単位の化学装置の考え方をミリ単位の実験装置に適用

(株)KRIは、材料技術、エネルギー・環境関連技術を中心とする受託研究・分析評価を行っています。弊部では化学プロセス開発を行っており、最初は大型化学装置の流動床の原理を当てはめたのですが、うまく説明できませんでした。次に、セル容器の中心部に偏流するモデルを考え、精度良く実験結果を説明することができました。東和薬品(株)様の実験データは豊富にあり、相関関係をイメージするのに役立ちました。

KRI
KRP 1号館

(株)KRI
環境化学
プロセス研究部長
阪井 敦氏



CASE 03 ヴァーヴビジュアルソリューション(株)が発想・企画した装置や機器を、中央技研(株)がトータルで具現化

ものづくりの夢に強みを活かしたコラボで挑戦!

現場で求められるオリジナルな装置機械を企画開発しているヴァーヴビジュアルソリューション(株)。カスタムメイドの装置や機械の製造を企画から保守管理までワンストップで対応している中央技研(株)。少人数編成・ファブレスで事業展開する、ものづくり企業同士のコラボは、KRP(株)が運営していたVIO(ベンチャー・インキュベーション・オフィス)で隣室となったのが縁で3年前から始まりました。「今までなかった製品を」とノンジャンル・ノンカテゴリーで現場発想の製品を提案する

竹中氏に対して、「ノーと言わない」をポリシーとする河野氏は、厳しい予算や多少のリスクを承知で協働、その都度“大きな山に登る思い”で取り組んできたとのこと。「IT分野や制御系に強いのがありがたい」「ハードルは高いが持ち味を引き出してくれる」と、互いに信頼し合える関係です。最近では「レーザーの線源にとらわれないレーザー加工機」「化粧品メーカーの肌カウセリングシステム用の画像処理装置」を開発・製造。9月には高機能フィルム展にレーザー加工機を初出展、来年の日本皮膚科学会では、肌カウセリング画像処理装置の新開発品を発表予定です。



ヴァーヴビジュアルソリューション(株) 代表取締役 竹中 章浩 氏
中央技研(株) 代表取締役 河野 尚久 氏

COMMENT

verve
visual solution inc.
装置の設計・製造・制御

KRP 1号館

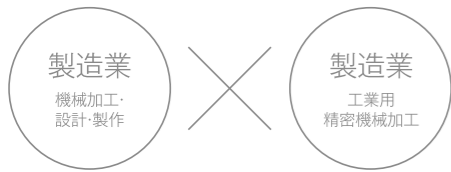
ヴァーヴビジュアルソリューション(株)

医療、バイオ、美容、健康など幅広い分野で求められるFPA用レーザー加工機や画像処理・検査など、独自技術による機械・装置の開発製造を行う。大学や研究機関、企業との共同開発を中心に展開。

中央技研株式会社
CENTRAL TECHNOLOGY CO., LTD.

中央技研(株) KRP 1号館

電子部品・自動車部品に必要な装置設備を中心に、産業機器の企画・設計から製造・販売・メンテナンスまで一括して提供。ハードウェアだけでなく制御や保守管理も含めたトータルな提案が強み。



CASE 04 (株)シオガイ精機の機能的でリーズナブルな脱臭装置で(株)ユー・エム・アイの工場環境を改善

アプローチしにくい脱臭装置と作業現場の脱臭ニーズをマッチング

(株)ユー・エム・アイは、自社開発のプリント基板実装用特殊ボード(フレックスキャリア)の製造に際して新たな工法の開発をすべく、KRP(株)が入居企業への支援を受託している宇治ベンチャー企業育成工場(宇治VIF)に設けた工場で作業開始したものの、想定以上の臭気に苦慮。同社の植村氏がKRP担当者に相談をもちかけ、担当者から、地区内勉強会などでかねて注目していた(株)シオガイ精機の脱臭装置を紹介。両者をマッチングする形で工場への導入が実現しました。

(株)シオガイ精機の製品は、植村氏が求めている「臭気を作業者が浴びないようピンポイントで除去できる」という課題をクリアしていたうえ、省スペースな中型サイズ、リーズナブルな価格など諸条件に合致。「社長自ら搬入しセットアップをサポートされるなど非常に安心感があった」と好印象をもたれ、今後は他の工場インフラの相談や提案の依頼も、と期待をかけています。「脱臭装置は直接的な売り込みが難しいので、このようなマッチングはありがたい」と塩貝氏。同社ではビジネスの横展開につながる可能性を秘めた本製品を、海外市場へ展開するプランも進行中です。



(株)シオガイ精機 代表取締役 塩貝 寿俊 氏
(株)ユー・エム・アイ 常務取締役 植村 豪彦 氏

COMMENT

SHIOGAI SEIHI VIETNAM CO., LTD.

(株)シオガイ精機 KRP 4号館

機械切削加工および機械加工品、溶接加工品、海外加工品、組立製品、精密機器の設計製作。各工場における省力化、自動化、迅速化を先端技術とクラフトマンシップで多角的にサポート。

umi
Ultimate Method & Individuality.

(株)ユー・エム・アイ

プラスチック、軽金属を切削する部品の加工販売を事業とし、工業用パーツの精密加工を中心に展開。FPCプリント基板の実装に用いる特殊なボード(flex carrier®)を電子メーカーと共同開発。



CASE 05 (株)FKAIRのAI(人工知能)を(株)バウンスのデザイン力により付加価値を与える

(株)バウンスがフロントエンドを(株)FKAIRがバックエンドを担う

2016年4月にKRP地区にオフィスを開発した(株)FKAIR。入居当初に、KRP地区内の不用品おすそ分け情報サイト“おたがいさまネット”を利用したのが、(株)バウンスとの出会いだったそう。そのやりとりの過程で感じた誠実な対応が、自社のデザイン全般を依頼するきっかけだったといいます。「ソフトウェア企業などで多くのクリエイターに接してきた経験から、バウンスさんならお任せできると思ったんです」と尾藤氏。まずは早急に必要だったロゴマークの制作を依頼。これを起点にウェブ

サイトや展示会のチラシ、パンフレットなど、デザインに関するほぼすべてを(株)バウンスが制作することになります。一方の(株)バウンスは、(株)FKAIRの事業であるAI(人工知能)については素人。「とくにAIによる太陽光発電予測搭載のクラウドサービス『O&Mエナジーエージェント』は、AIについて指導を仰ぎながら、何度も打ち合わせを重ねました」と角井氏は語ります。KRP地区内にあって、まさしく“顔が見える”対応と丁寧な仕事で、それぞれの思いが異なる点をひとつひとつじっくり解決していったことによって、お互い納得のいく仕事に結びつきました。



(株)FKAIR 取締役COO 尾藤 美紀 氏
(株)バウンス 代表取締役 角井 健治 氏

COMMENT

fkAir

(株)FKAIR KRP 6号館

2016年、AI発電予測搭載のクラウドサービス「O&Mエナジーエージェント」をリリース。優秀な研究者に活躍の場を提供するとともに、無限の可能性を秘めたAI事業の具現化をめざす。

bounce

(株)バウンス スタジオ棟

設立以来KRP地区を足場に、ウェブサイトの企画・制作を中心にグラフィックから店舗までさまざまなデザイン業務を展開。ウェブに軸足を置きつつ、さらに新たなフィールドを見つめる。

人・情報・技術を結び、イノベーションを誘発する KRP(株)の社は「集・交・創」の取り組みの一部をご紹介します

◆産学公連携活動

4つの分野でプラットフォーム活動を展開中

KRP(株)は、地区内公的機関、大学、外部機関と密に連携しながら、産・学・公によるエコシステムの構築ならびに、新たなイノベーションを生み出すための仕組み作りに取り組んできました。

現在は、「ICT&デザイン」、「クリエイティブ事業創出」、「電子・エネルギーシステム」、「ライフサイエンス」という4つの分野に重点をおき、人や組織が連携できる「場」や「ネットワーク」づくりをプラットフォーム活動として展開しています。

産学公連携活動では、各プラットフォームを通じ、京都・関西地域の活性化、新産業創出の土壌づくりを目指しています。



◆成長企業支援活動

アクセラレーター拠点運営と入居者さまへの事業サポート、創業プログラムの実施、自治体の運営するインキュベーション施設での支援事業の受託など中小・ベンチャー企業の成長のための幅広い支援活動を行っております。多岐にわたるネットワークを活用し、マッチングをはじめとした多様な支援活動を通じ「交」を体現しています。



◆KRP-WEEK

8月初旬に開催するイベント週間。ビジネスのセミナーや講演会、交流会だけでなく、落語や料理教室までジャンルも幅広く、大小合わせて60余りのイベントを1週間で実施。期間中の来場者数は延べ6,000名になります。特に地区内の企業を主に約400名が参加する交流会は出会いと情報交換の場となっています。



集まるサービス

KRP地区の集積を活かし、1社では負担が大きく実施しにくいことをサービスとして提供しています。

例) 集団健康診断・サークル活動・人材育成・PRサポート



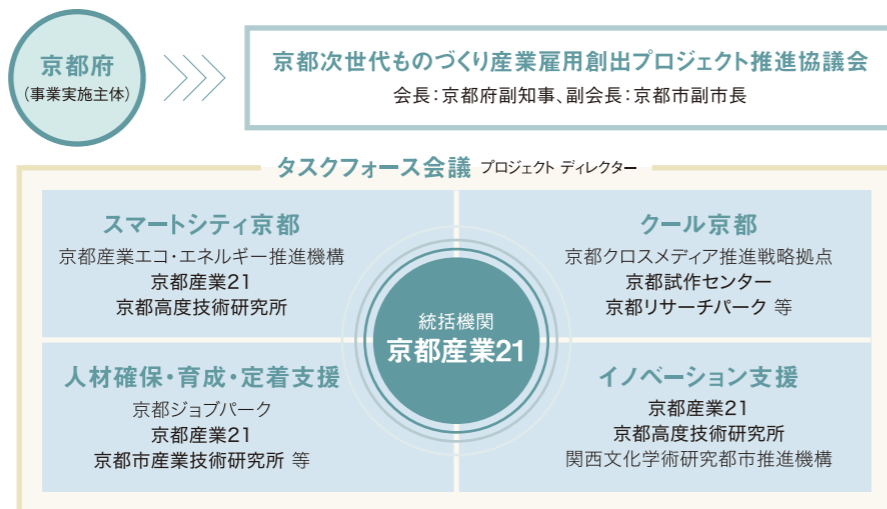
オール京都で取り組む次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

京都の特性や強みを最大限に生かし
次世代ものづくり産業を応援

京都ものづくり産業の次代を担うべき新規事業創造や企業の付加価値力向上により、質の高い安定した雇用創出を目的とするプロジェクトが進んでいる。これは、厚生労働省から採択を受けて2013年度から取り組む国の事業。製品開発型ものづくり企業や大学・研究開発拠点、伝統、コンテンツ産業等が集積する京都ならではの特性や強みを最大限に発揮し、産学公・公労使の「オール京都」の体制のもとで産業政策と雇用政策を一体的に推進。(公財)京都産業21を中心にKRP地区内の複数の団体が参加し、IoT技術の活用、京都ブランドを生かした新製品・サービスの創出など、さまざまな分野で事業に寄与している。



iPSネットの人材育成研修(細胞培養体験)



2013年度から取り組んでいるこのプロジェクトは昨年度から2ndステージが始まり、IoT/IoE産業などの時代に対応した事業や、iPS、京の食など京都ならではの事業など、新たな分野にも取り組んでいます。新分野進出に意欲のある企業様が勉強・交流できる研究会を設けているものもあります。京都市内だけでなく、けいはんな地区や府北部地域などにもプロジェクト参画団体があり、地域的にも「オール京都」体制で取り組んでいます。プロジェクトの各事業に配置した経験豊富なコーディネーターを中心に、今後も企業様に対する産業支援を通じ、雇用の創出・拡大に向けた取り組みを進めます。

(公財)京都産業21
京都次世代ものづくり産業
雇用創出プロジェクト推進センター
センター長 門道夫氏

◆ 本事業のお問合せ先 ◆
(公財)京都産業21 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進センター
TEL:075-315-9061 <http://kyoto-koyop.jp/>

KRP Activities ◆ KRPのとりくみ

次代へと繋ぐために

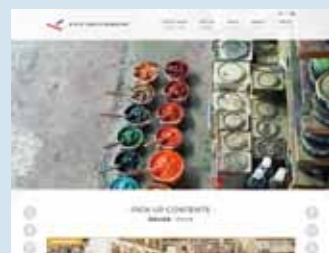
KRP(株)では雇用創出プロジェクトの環として、助成制度である「新文化産業発展強化支援事業費補助金」の事業と合わせて、対話型トークイベント「クリエイティブ・テーブル」の開催や、webメディア「KYOTO CRAFTS MAGAZINE」(以下KCM)の運営を行っている。即効性が期待できる助成と並行し、より長い観点から文化産業全般を活性化する活動も行うことで、取り組み全体に持続性・貫性を持たせる狙いだ。特にKCMは、「伝統工芸の仕事の見え方」と「伝統工芸を憧れの仕事に」という理念のもと、工芸や手仕事の「いま」を伝える目的で昨年立ち上がった。次代の作り手・使い手へと産業を繋げていくために、今後も柔軟で広範な視野を持った取り組みを展開したい。



クリエイティブ・テーブル



雇用創出プロジェクト担当者(左から山崎、野口、市川)



KYOTO CRAFTS MAGAZINE WEBサイト
<https://www.kougeimagazine.com/>

京都リサーチパーク(株)
産学公連携部 市川
TEL:075-315-8491

KRP STAFF EVENT REPORTS

平成29年度 「再生医療サポートビジネス懇話会」スタート

再生医療におけるモノづくりビジネスはここから始まる

開催日:4月24日(月) 担当部署:産学公連携部

平成29年度第1回講演者は、座長である京都大学ウイルス・再生医科学研究所の田畑泰彦教授。再生医療ビジネスへの参入について、実例をベースにした幅広い内容が展開された。聴講者の満足度も非常に高く、再生医療分野での新たなビジネスを検討中の方は、是非ご参加頂きたい。



Startup Weekend Kyoto

起業家として過ごすエキサイティングな54時間!

開催日:5月12日(金)~14日(日)

担当部署:成長企業支援部

週末54時間を起業家として過ごす「Startup Weekend」が京都市内のサポーターズで行われた。学生、社会人が合計約30名参加。外国人観光客がアナログな手段で道案内等を行なえるツールを作成したチーム名「学生75%(天然還元)」が優勝を勝ち取った。



第3回 KRPアイデア・シェアリング・コミュニティを開催

研究者同士が自由に意見交換できる場の創出へ

開催日:5月24日(水) 担当部署:新ビジネス開発部

新進気鋭の大学研究者を毎回ゲストに招き、気軽に議論・交流できる場を目指して隔月開催中。今回は地区内の研究者9社・19名が参加。電子カルテなど医療情報のビッグデータ・アナリシスに取り組む京都大学(医)佐藤特定助教の発表をもとに活発な議論を行った。



香港テクノロジーセミナー2017 In KYOTO 「香港発! アジアの最新トレンド」

アジアのトレンドセッター香港の魅力

開催日:6月2日(金) 担当部署:経営企画部

香港を中心とするアジア市場をターゲットに、EC技術を軸とした事業展開の最新トレンド情報を共有するセミナーが開催された。(株)ワンワールド代表取締役の乾亜紀彦氏らが登壇。セミナーでは参加者を変え、活発な質疑・意見交換が行われた。



CHECK! EVENT Infomation 2017 07-11

- 平成29年度 再生医療サポートビジネス懇話会
 - ・第3回「Organs-on-a-chipへの期待と技術的課題」(@日本橋)
 - 開催期日:2017年7月21日(金)
 - ・第4回「耳鼻咽喉科領域の機能再生」
 - 開催期日:2017年10月31日(火)
- 平成29年度 再生医療ビジネスシンポジウムin KRP part X
- 開催期日:2017年9月26日(火)
- 再生医療の全体像を見わたせる分かりやすい解説講座
- 開催期日:2017年11月9日(木)・10日(金)
- 再生医療イベントページURL
<http://www.krp.co.jp/sangaku/bio/communications>



KRP-PRESS編集室からのお知らせ



後列左から渡邊・鈴木編集長・味岡
前列左から木脇・肥山
よろしくお祈りします!

KRP-PRESS 150号を節目に、編集担当が新体制になりました。150号を迎えられたのも、ひとえに皆さまのご支援・ご協力の賜物と心より感謝しております。これからもKRP地区内外の皆さまに情報を発信するとともに、もっと読みたくなるKRP-PRESSを目指して参りますので、変わらぬご愛顧のほど、よろしくお祈りいたします。

詳しい内容はWEBでチェック! ▶▶



・KRP News & Events
<http://www.krp.co.jp/newsevents/>
f <https://ja-jp.facebook.com/krp.corp/>



facebook



KRPエリアを拠点に活躍する
すべての人、その意外な素顔に迫ります

KRPeople

スフェラーパワー株式会社 代表取締役会長 中田 仗祐 氏 代表取締役社長 井本 聡一郎 氏

太陽電池を球状に その発想は、コロンブスの卵

2017年3月、京都市中京区からKRP地区に本社オフィスを移転したスフェラーパワー(株)。社名が示すスフェラー＝球状太陽電池の特性を生かして、太陽光発電の新たな可能性を拓く事業を展開しています。

もともと同社は、光半導体メーカー・京セミ(株)が取り組んでいたスフェラー事業を承継する形で、2012年に設立されました。創業した中田会長は、じつは京セミ(株)の創業者であり、「太陽電池を球状にすれば最も光の利用効率がよいのでは」と着想した発明者でもあります。長年かけて育てた会社を離れ、新たな会社を立ち上げた中田会長。「子どもの頃から新しいものを作るのが好きでした。可能性や夢、高い目標に向けて、挑戦し、知恵を絞る。そうしてこれまで多くの特許を出願してきましたが、ベースになっている思いは子どもの頃から変わらないのかもしれない。会社も同じでチャレンジ精神がないと創業はできません。これまで培った経験と資金を投入して、「未来」を創り出します」と熱く中田会長は語ります。

太陽光発電をもっと身近にする オンリーワンの技術

従来の太陽電池はフラットなパネルタイプ。固定して設置した場合、一方向の太陽光しか取り込めません。一方、球状のスフェラーなら、あらゆる方向からの光で発電が可能。またビーズのような微小な粒状なので、

平らな面だけでなく曲面や立体にも応用できるのもスフェラーならではの強み。ガラスにはめ込んでも景観を損なわず、また布に織り込めばユニークな製品の誕生も期待できます。そうした新たな製品展開と販路拡大を担うのが、井本社長。京セミ(株)時代からスフェラーの研究開発に携わってきたようで、「光学的特性にもデザイン性にも優れたオンリーワンの技術」というスフェラーにかけた熱い思いは会長にも負けません。

出会いとチャンスを生かし 新たな応用の可能性へ

工業高校を卒業後、三菱電機に入社した。「知りたい」「なぜ?」という思いが先立ち、先入観のない新しい視点と見方で、直面する困難について考える力がついた。「まさしく、必要は発明の母」という中田会長は、オフの日には庭でバラを育て、野菜を栽培しているそう。一方、京都大学で学び身につけた確かな知識と観察眼でスフェラーの新たな展開を捉えるのが、井本社長。幼い頃からジッとしているのが苦手で、現在も山登りやマラソンなど自分の足で歩き、走ることが日々のリフレッシュに繋がるといいます。

好対照の2人ですが、スフェラーの新たな応用への思いは同じ。「自社だけでなく、多くの人に可能性を追求してもらいたい」「材料コストを下げ、生産性を高めるのが現在の課題」。量産体制が整備され、街や暮らしのあちこちでスフェラーを利用した商品を目にする日も間近です。



中田 仗祐 氏 profile (右)

三菱電機で半導体や太陽電池の研究に携わる。1980年に立ち上げた京セミ(株)で球状太陽電池を着想、開発。苦労した分、形になって報われるところがものづくりと似ていると、植物栽培が趣味。

井本 聡一郎 氏 profile (左)

大阪出身。京都大学卒業。京セミ(株)にてスフェラーの研究・開発に携わる。スフェラーパワー(株)設立とともに移籍。趣味の山歩きでは、日本百名山を制覇。日々、鴨川沿いを走るそう。



球状太陽電池を使ったモダンな商品も次々と開発、その新斬でユニークな商品は、各種マスメディアで紹介され注目を集めている。
(左)スフェラー®ランタン (右)スフェラー®スティック

Corporate Information



スフェラーパワー株式会社

スフェラー-Sphelarとは「Spherical Solar」からの造語。太陽電池を球状に、という思いが込められています。パネル型が主流となる中で、世界初の三次元受光を可能にした独自の球状太陽電池「スフェラー」を開発し、製造、販売。微小な球状であり、球面全体が受光面となる、形状と光学的特質を生かし、さまざまなパートナーとともに太陽光発電の応用範囲を広げるソリューションを追い求めます。

KRP 6号館

代表取締役社長 井本 聡一郎
TEL: 075-874-1474
FAX: 075-874-1476
URL: <http://www.sphelarpower.jp>
MAIL: inquiry@sphelarpower.com
業種: 電機/電子/半導体

Newcomers



KRPエリアに入居された
新しい企業様のご紹介です

KRP BIZ NEXT



株式会社ヴェルデ

給排水衛生・空調防災設備・設計・施工管理。確かな技術力で快適な空間作りをお約束します。

- 給排水衛生: 水を出し、使い、排出するまで生活環境に必要なあらゆる設備を確かな技術力で施工します。
- 空調設備: エアコン・換気扇など、空調換気設備の設計・施工を行います。健康で快適な生活空間作りには自信があります。
- 防災設備: 消火器、屋内消火栓、スプリンクラーなど、マンションでの火災を未然に防ぎ、被害を最小限に抑える設備を施工します。

代表取締役 森岡 貴司

TEL: 078-414-8490 FAX: 078-414-8491

URL: <http://www.verde2006.com/>

MAIL: info@verde2006.com

業種: 建築/設計/土木

KRP BIZ NEXT



株式会社ワトレイ

わたしたちワトレイは、訪問看護事業所・訪問介護事業所を西京区および南区で運営しています。弊社代表が兼務する株式会社NOSWEAT(医療系に特化した、特に看護師を中心とした人材派遣・人材紹介会社)から優秀な人材を各事業所に配置し、より良いサービスで地域に根ざした運営を心掛けています。併せて、保険外(自費)での一般家庭への看護師を派遣するサービス(高齢者や障害者が自宅での生活する際の援助や一時的退院の生活サポート、冠婚葬祭等や観光への同行など)を展開しています。

代表取締役社長 長谷川 元夫

TEL: 075-323-7090 FAX: 075-323-7088

URL: <http://watorei.jp/>

業種: 医療/健康/化学/バイオ

KRP BIZ NEXT



株式会社 DMY Associates

当社は、京都市内にテナントビル・マンションを所有し、不動産賃貸事業を行っており、現在は、更なる事業拡大を目指しています。お気軽にお問い合わせください。



代表取締役 山本 具隆

TEL: 075-315-9342 FAX: 075-744-6077

MAIL: dmyassociatesjapan@gmail.com

業種: 不動産/ビル設備

京都から新しいビジネススタイルのご提案



素早くビジネスを始めたい方、
上質で落ち着いたワークスペースをお探しの方、
様々なご要望にお答えする新しいビジネス空間です。

サービスオフィス KRP BIZ NEXT

【お問合せ】

TEL: 075-315-9333

<https://www.krp.co.jp/serviceoffice/>

◆ facebookで最新情報をチェック ◆

<https://www.facebook.com/krpbiznext/>

facebookはこちら



KRP-WEEK

2017

Road to -----
未来につながる実験場

-----への道。
時代の先を見据え、
様々な“道”を目指す人々が挑戦できる場。
人が集まり交流する中で、
新たな着想やつながりを作れる場。
「未来につながる実験場」、
それがKRP-WEEKです。

主催：京都リサーチパーク株式会社
後援：近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、
公益社団法人京都工業会、京都産業育成コンソーシアム、
京都産学公連携機構、一般社団法人京都経済同友会
問合せ先：京都リサーチパーク株式会社 KRP-WEEK 事務局
TEL：075-315-8485 E-mail：krp-week@krp.co.jp

PRE EVENT 7.22SAT, 7.24MON, 7.28FRI, 7.29SAT

7.31^{MON} >> 8.6^{SUN}

会場：京都リサーチパーク内各施設

KRP-WEEK は「イノベーションの創出と交流の場づくり」を
目的に開催する地区のイベント週間です。

詳細はWEB・facebookで公開中!

www.krp.co.jp/krpweek/

www.facebook.com/krpweek/



INFORMATION

環境配慮へのご協力をお願い

KRP(株)では、環境問題への取り組みとして「KES ステップ2」の認証を受け、環境への影響を低減させる活動を続けています。地域及び地球環境との調和の実現に向けて、省エネ、節水、廃棄物の分別・削減等、環境に対する負荷の低減に、皆さまのご配慮とご協力をお願いします。



●KESについて詳しくはコチラ

KES・環境マネジメントシステム標準公式サイト
<http://www.keskyoto.org/kesinfo/>

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

配 送 ①〒、住所 ②団体名 ③部署名 ④お名前 ⑤TEL/FAX ⑥メールアドレス ⑦「配送希望」 ※定期配送も可能です
停 止 ⑧ご登録No. (封筒宛名ラベル右下) ⑨「配送停止希望」 変 更 ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.150
July
2017

KRP PRESS www.krp.co.jp/pub/index.html

○編集・発行／京都リサーチパーク株式会社
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階) TEL:(075)315-9333 FAX:(075)322-5348
○編集長／鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷／株式会社情通レゾナンス ○配送管理／有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信中 毎月第2・4火曜配信
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>

